

豊田市長 太田 稔彦 様

# 提 言 書



令和8年1月14日  
松平地域会議

## 提 言

地域のまちづくり計画として令和5年3月に「第2次松平地域まちづくり構想（以下、構想とする）」を策定し、以降、「みんな元気で笑い合う 魅力あるまち松平」を将来像に掲げ、行政と共働で地域の活性化やまちづくりに取り組んできました。しかし、過疎化や高齢化を始めとした社会環境が急速に変化し、地域の対応では解決が難しい課題に直面しています。そこで、当地域会議で検討した結果、2点について重点的に取り組む必要があると合意しました。つきましては、次のとおり提言します。

### 1 こどもの施策に関すること（構想 方針 2-1 地域ぐるみの子育て支援）

豊田市こども・若者計画等こどもの施策は、子育てを取り巻く環境の多様化を考慮し、適宜当事者の声や地域の意見を吸い上げ、施策の立案や見直しなどに反映するとともに、各地域の子育て支援の取組がより良いものになるよう推進することが必要である。特に、子育て家庭と地域のつながりの希薄化の解消や仕事と子育ての両立支援に重点を置き、地域間の子育て環境の違いを解消する取組を推進することが必要である。

### 2 鳥獣害に関すること（構想 方針 4-1 鳥獣害対策）

松平地域の大きな魅力のひとつである豊かな自然環境を守り、農地を健全な状態に保つために、自然との共存を構想に位置付けているが、鳥獣害は依然増加の傾向にあり、より一層の対策が急務である。近年では、その被害が農業関係だけに留まらず、広く日常生活圏域にまで及んでおり、その対応には、地域・行政・猟友会等の更なる連携と体制の強化が必要不可欠である。ついては、豊田市鳥獣被害防止計画等の推進に加え、支援策の新設及び拡充や関連する窓口の一元化など、総合的な鳥獣害対策の仕組みの構築が必要である。

松平地域会議 会長 青木 正道

## 【参考 1】 これまでに検討した本提言における松平地域の課題

### 1 地域ぐるみの子育て支援における地域での取組の限界

地域ぐるみの子育て支援に取り組んでいるが、支援ニーズが多様化する中で、家庭が地域に対して、どのような取組を期待しているのかを把握することが困難である。こどもや子育て家庭と地域との関係性の希薄化や少子化が進んでいることから、これまでの延長線上の取組では効果が得られにくいと考える。

### 2 子育て環境の充実に向けたハード面の支援の限界

松平地域では、遊びに行く時・通学・習い事など、子育ての様々な場面で保護者の送迎が必要不可欠である。こどもの成長に必要な経験をさせるには送迎が欠かせないにも関わらず、仕事や買い物などの日常生活でも移動時間が必要であり、負担が大きい。

### 3 鳥獣害の増加

農業関係者に限らず、日常的に鳥獣を目にすることが急増している。農作物の被害に加え、地域住民の安全面でも懸念が広がっている。現在も、行政や猟友会が対策に取り組んでいるが、地域住民からは「鳥獣が増えている」「対策が追いついていない」という声が後を絶たない。

## 【参考 2】 松平地域の特徴

- ・ 山間地域と団地が共存しており、自治区ごとに全く異なる課題を持っている。
- ・ 自然や歴史、伝統文化などの地域資源が多く、地域住民の誇りである。
- ・ 小規模特認校制度を活用し、地域の活性化に努めている。
- ・ 1つのこども園と1つの幼稚園、5つの小学校、1つの中学校、1つの高等学校からなる。

### 【参考 3】 提言に至るまでの地域会議の協議過程

令和 6 年度：地域課題の抽出・選定

令和 7 年度：こども・若者政策課及び農業振興課へのヒアリング

松平地域の課題を抽出する中で、地域の過疎化や少子高齢化の影響が避けられないことを実感しました。現実には豊松こども園の休園をはじめ、こども会やジュニアクラブの減少、耕作放棄地の増加など、影響は大きくなっています。また、働き方の変化やそれに伴う家庭の考え方の変化、気候変動や生態系の変化など、地域を取り巻く環境の変化は著しく、様々な取組に対して担い手不足が顕著であり、地域で実施可能なことにも限りがあります。

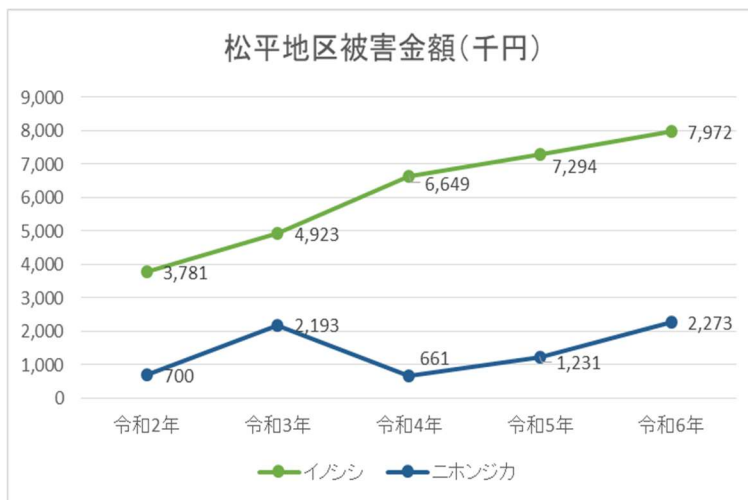
様々な課題の中でも、市と地域の共働が必要不可欠である 2 つの課題を選定し、提言を通してよりよい地域づくりを推進できるよう努めてまいりました。

## 【参考4】関連データ

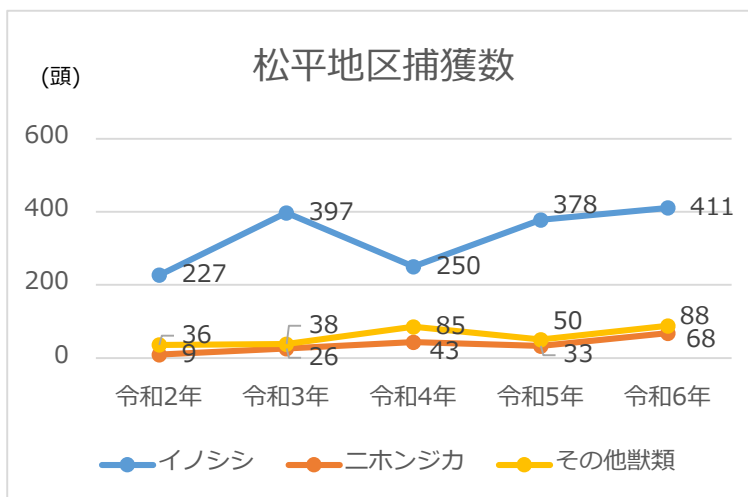
子育てに関するデータ（R5.12 実施アンケートより）

- ・公園や習い事、塾などのこどもの交流のきっかけとなる場所が遠く、外で遊ぶにも、友達に会うにも、習い事などの経験をさせてあげるにも、保護者の送迎が不可欠であり負担が大きい。
- ・こどもの面倒をみてくれる知り合いが近くにいないため、仕事との両立が難しい。体調不良時に急に休んだり、逆に残業でこども園に迷惑をかけたりすることが申し訳ない。
- ・しつけ（食ベムラ、片付け、学習、スマホの使い方など）の伝え方や程度が難しい。

鳥獣害に関するデータ（農業振興課より）



被害金額は年々増加している。  
柵等の対策を実施しても被害にあってしまう。



猟友会の活動により毎年捕獲しているが、鳥獣が増えているため、地域だけでは対策が間に合っていない状況。